

## 自治体・地元産業界等との地域の課題解決に向けた連携事業・研究

## 「食品リスクコミュニケーター育成」（2022年8月～2023年3月）

## i 連携している自治体・地元産業界等の組織名称

## 甲府市

甲府市と山梨学院大学及び山梨学院短期大学は、豊かで活力ある地域社会の形成と地域の振興を図り、相互の発展を目指すことを目的とし、2018年1月31日付で包括的連携協定を締結した。連携内容は以下のとおりである。

- ①健康・福祉、国際交流、教育・文化・スポーツ、産業、まちづくり、生活・自然環境に関すること
- ②人的資源の交流
- ③物的資源の相互活用
- ④その他

## ii 連携している自治体・地元産業界等の中期計画・事業計画

## 令和2年度～令和5年度 甲府市地域福祉推進計画

本学との連携事業・研究は、甲府市地域福祉推進計画「施策1 地域福祉を支える人づくり (3) 地域活動の意識高揚・担い手養成 ⑧食品リスクコミュニケーターの養成」に関わるものである。

## iii 当該連携事業・研究における地域の課題、その課題解決に向けて設定した目標

甲府市では、市民において、食品安全に関する科学的根拠に基づく正しい情報の理解不足の課題があると捉えている。その解決に向けて、甲府市、本学、山梨学院大学、消費者庁が共同で、食品リスクコミュニケーターを養成するプログラムを実施する。目標は、科学的根拠に基づいた正しい知識を修得し、食品リスクについて正しく理解する市民を増やすことである。

## iv iiiの課題の解決に向けて実施する取組の内容

上記の目標を達成するために、甲府市と山梨学院大学及び山梨学院短期大学との包括的連携協定に基づき2019年度から「食品リスクコミュニケーター養成講座」を開講している。2021年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大のため実施できなかったが、2022年度には3回目の「食品リスクコミュニケーター養成講座」を開講した。「食品リスクコミュニケーター養成講座」は、各分野の専門家講師による講義、施設見学、グループワークからなり、講座修了後に「食品リスクコミュニケーター」として活動する知識・スキルを身につけるように計画されている。3回目の2022年度は2022年8月に開講し、2022年11月に修了した。2023年3月に成果物としての啓発冊子を刊行した。

## v 連携事業・研究の計画・実績・結果

2022年度の活動実績は以下の通りである。

年月日	内容
2022年4月27日	山梨学院短期大学にて2022年度「食品リスクコミュニケーター養成講座」の実施について、甲府市、山梨学院大学、山梨学院短期大学、消費者庁の関係者の出席のもと、打ち合わせが行われた。
2022年7月	2022年度リスクコミュニケーター講座への申し込みが行われた。
2022年8月～11月	食品リスク、最新の衛生管理の方法、情報の選択と情報伝達の方法等について、講義と施設見学、グループワークからなる13回の講座を実施した。6名の受講者が参加し、参加者は講義内容および施設見学から得られた「食品リスク」に関する知識を、グループワークを通して啓発冊子「どっちが安全？」作成した。修了式にて受講者全員で啓発冊子の内容を発表し、6名全員が無事講座を修了した。
2023年3月	啓発冊子「どっちが安全？」を紙媒体で発行し、また甲府市ホームページに掲載された。